



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 庄 慎司 TEL 03-5846-9010
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	36,562	△5.5	1,463	△9.6	1,553	△14.2	885	△35.2
2020年3月期第3四半期	38,702	7.4	1,618	997.5	1,811	766.7	1,365	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,234百万円 (△28.5%) 2020年3月期第3四半期 1,727百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	116.64	—
2020年3月期第3四半期	177.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	64,698	29,901	46.2	3,938.99
2020年3月期	69,450	28,999	41.7	3,809.58

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,886百万円 2020年3月期 28,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	△10.6	2,000	△45.4	2,200	△43.4	1,300	△51.5	171.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 一社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社つくばイワサキ

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,821,950株	2020年3月期	7,821,950株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	234,673株	2020年3月期	214,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,587,952株	2020年3月期3Q	7,706,823株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
地域別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、国や地域によってばらつきがあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、総じて厳しい状況が続きました。欧米では、経済活動の再開により景気を持ち直しの動きが見られましたが、感染症の再拡大により、予断を許さない状況が続いています。一方、中国では、感染症の収束が見られ、2020年10-12月期の実質GDP成長率は前年同期比6.5%増となり、感染拡大前の水準に回復しました。わが国経済は、段階的な経済活動の再開とともに景気を持ち直しの動きがみられましたが、設備投資や雇用環境の回復は鈍く、また足元では感染症が再拡大しており、2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループは「光テクノロジーを通して豊かな社会と環境を創造する」という企業理念のもと、照明事業と光・環境事業において、これまで培ってきた光技術と関連技術の融合を図り、独自性のある商品提供と、周辺事業を含めたトータルソリューションビジネスの展開を推進しております。当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、展示会の中止、対面営業の機会減少など、企業活動全体が制限を受けたことにより経費支出が抑制されました。その中で、当社グループにおいてはWEB会議ツールを使った商品提案、動画による商品プレゼンテーション展開を図るなどの取り組みを行い拡販に努め、また、在宅勤務や時差出勤などを実施し、業務の効率化、生産性の維持向上に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,562百万円（前年同期は38,702百万円で5.5%の減少）、営業利益は1,463百万円（前年同期は1,618百万円で9.6%の減少）、経常利益は1,553百万円（前年同期は1,811百万円で14.2%の減少）、水銀ランプ生産終了に伴う費用231百万円を特別損失に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は885百万円（前年同期は1,365百万円で35.2%の減少）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<照明>

照明事業は、国内では、国や地方自治体のリニューアル需要に対応したことで、トンネル照明器具などの売上高は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による民間設備投資の抑制や、前年同期の東京オリンピック・パラリンピック関連のインフラ整備需要の反動により、高天井照明器具および景観、演出などの屋外用照明器具の売上高は減少となりました。海外では、北米は堅調に推移したものの、東南アジア地域は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために企業活動が大きく制限され、伸び悩みました。

これらの結果、売上高は25,771百万円（前年同期は29,121百万円で11.5%の減少）、セグメント利益は2,375百万円（前年同期は2,801百万円で15.2%の減少）となりました。

<光・環境>

光・環境事業は、殺菌関連分野では、感染症の拡大防止に貢献するべく、紫外線殺菌技術を応用した新商品の提案活動を推進し、売上高は増加となりました。一方、UVキュア分野、環境試験装置分野では、設備投資の凍結や延期の動きが継続し、売上高は低調に推移しました。なお、情報機器事業では、情報表示装置関連で前年同期を上回る件名納入があり、売上高は増加となりました。

これらの結果、売上高は10,824百万円（前年同期は9,644百万円で12.2%の増加）、セグメント利益は365百万円（前年同期は219百万円で66.5%の増加）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2021年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見通しをはじめ、国内及び諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、2021年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細は、2021年2月1日付にて別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,261	14,675
受取手形及び売掛金	14,433	11,520
電子記録債権	2,837	1,764
商品及び製品	6,989	7,659
仕掛品	1,593	1,665
原材料及び貯蔵品	4,729	4,959
その他	611	660
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	47,423	42,872
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,337	9,337
その他(純額)	7,127	6,632
有形固定資産合計	16,465	15,970
無形固定資産	713	518
投資その他の資産	4,847	5,337
固定資産合計	22,026	21,826
資産合計	69,450	64,698
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,582	5,688
電子記録債務	5,870	3,983
短期借入金	830	770
1年内返済予定の長期借入金	900	4,264
未払法人税等	941	78
賞与引当金	794	201
クレーム処理引当金	178	84
その他	2,797	3,523
流動負債合計	19,894	18,594
固定負債		
長期借入金	4,400	640
退職給付に係る負債	13,200	12,525
資産除去債務	134	134
その他	2,820	2,902
固定負債合計	20,555	16,202
負債合計	40,450	34,797

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	16,466	17,044
自己株式	△298	△323
株主資本合計	26,877	27,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	1,864
土地再評価差額金	2,410	2,410
為替換算調整勘定	△378	△507
退職給付に係る調整累計額	△1,472	△1,310
その他の包括利益累計額合計	2,104	2,455
非支配株主持分	17	15
純資産合計	28,999	29,901
負債純資産合計	69,450	64,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	38,702	36,562
売上原価	26,261	24,761
売上総利益	12,441	11,801
販売費及び一般管理費	10,822	10,337
営業利益	1,618	1,463
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	91	99
受取補償金	215	—
助成金収入	—	43
その他	67	61
営業外収益合計	377	207
営業外費用		
支払利息	75	64
持分法による投資損失	35	8
事務所移転関連費用	57	—
為替差損	13	29
その他	2	16
営業外費用合計	185	118
経常利益	1,811	1,553
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除売却損	4	1
投資有価証券評価損	0	—
事業構造改革費用	—	182
減損損失	—	48
特別損失合計	4	233
税金等調整前四半期純利益	1,819	1,320
法人税等	453	436
四半期純利益	1,365	884
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,365	885

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,365	884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	412	318
為替換算調整勘定	△157	△122
退職給付に係る調整額	143	162
持分法適用会社に対する持分相当額	△37	△6
その他の包括利益合計	361	350
四半期包括利益	1,727	1,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,726	1,235
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社つくばイワサキは当社の特定子会社である株式会社アイ・ライティング・システムを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,101	9,601	38,702	—	38,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	43	63	△63	—
計	29,121	9,644	38,766	△63	38,702
セグメント利益	2,801	219	3,020	△1,402	1,618

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,402百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,754	10,808	36,562	—	36,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	16	33	△33	—
計	25,771	10,824	36,596	△33	36,562
セグメント利益	2,375	365	2,741	△1,277	1,463

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,277百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「照明」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において48百万円であります。

3. 補足情報

地域別売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
33,680	3,127	1,672	223	38,702

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
31,176	3,493	1,725	167	36,562

以上